

2025年度「学びのふり返し」卒業時調査結果ダイジェスト (2026年3月卒業者対象)

AY 2025 Doshisha University Graduating Student Survey: Reflection on Learning

【実施概要】

実施期間:2025年12月9日(火)～2026年3月22日(日)※学部ごとに異なる

対象者:2025年度秋学期(2026年3月)卒業の学部学生

実施方法:Web調査(Microsoft Forms)

有効回答数:2,896件 有効回答率:49.2%

【調査の目的】

本学の学生がどのような能力およびスキルをどの程度身につけたと実感しているのか、学生の自己評価によるデータを卒業時に収集、蓄積し、学生が学位授与方針に掲げる資質・能力を獲得できたかを把握する一助とするため。

【全学共通の調査項目】

基本属性(通学区分、受験時の第1志望先、入学前の状況、卒業後の進路)

大学生生活満足度

卒業時点における知識・スキルの獲得状況

授業の役立ち度

4年次秋学期の正課活動に関する学習時間

授業への取り組み状況 など

同志社大学
Doshisha University

(1) 大学への満足度・学びの有用感

大学への満足度

「出会いや経験」「充実した学生生活」「知的好奇心への刺激」など、多くの項目で高い評価をしている。これらの総合的評価と考えられる「同志社大学で学んでよかったと思う」と評価している卒業生は約98%となっている。

	そう思う+ややそう思う (%)	有効回答数 (人)
同志社大学で学んでよかったと思う	97.7	2,895
同志社大学での出会いや経験は、今後の自分の人生でも重要な意味をもつと思う	94.9	2,896
充実した学生生活を送ることができた	94.4	2,891
学生生活を通して、お互いに尊重し合える友人と出会えた	94.0	2,888
興味のあることを大学で学ぶことができた	92.7	2,893
私が履修した大学の授業は、知的好奇心を刺激するものが多かった	90.3	2,896
大学で学んだことは、これからの生活設計やキャリアプランに役立つと思う	88.9	2,893
大学教育を通して、社会に貢献できる人に成長できた	87.6	2,895

学びの有用感

本学での学びを通じて、「多様なものの見方」「探求心」「協調性」「批判的精神」「社会問題への関心」「リーダーシップ」「国際的視野」といった、本学の教育目標に掲げているスキルの獲得に役立ったと回答している。

	役に立った+やや役に立った (%)	有効回答数 (人)
多様なものの見方に触れること	94.9	2,893
探究心を持つこと	93.0	2,892
協調性を持つこと	92.6	2,891
批判的精神を持つこと	90.2	2,893
社会問題への関心を持つこと	90.0	2,890
リーダーシップを発揮すること	80.2	2,891
国際的視野の獲得	79.8	2,893

(2) 大学で身についた知識・スキルはどのくらい？

身についた知識・スキル

	身についた+やや身についた (%)	平均値	有効回答数 (人)
自ら考え行動する力	95.3	3.49	2,888
自分の意見と事実を分けて書く力	95.3	3.49	2,893
ものごとに対して粘り強く取り組む力	92.9	3.47	2,892
ものごとの問題点を発見する力	93.9	3.44	2,891
文献や資料を読んで要点を理解する力	93.6	3.44	2,891
一般的な教養	94.3	3.42	2,892
課題を解決する力	93.6	3.42	2,893
コミュニケーション能力	92.1	3.42	2,886
専攻分野や学科の知識	94.5	3.42	2,892
チームワーク	90.6	3.40	2,889
自分の意見を筋道立てて主張できる力	91.7	3.39	2,889
安易に周りに流されず、自分が正しいと思うことを実行する力	91.9	3.39	2,886
批判的に考える力	90.0	3.34	2,890
プレゼンテーションの力	84.0	3.25	2,892
科学的・数量的にものごとを見る力	79.6	3.14	2,891
グローバル化による問題に対する理解	78.0	3.11	2,890
リーダーシップの能力	75.8	3.07	2,887
異文化の人々に関する知識	74.5	3.06	2,889
日本文化に関する知識	75.4	3.05	2,890
地域社会が直面する問題に対する理解	75.4	3.04	2,890
異文化の人々と協力する能力	69.7	2.97	2,889
英語の能力	64.5	2.83	2,890
英語以外の外国語（初修外国語）の能力	63.1	2.76	2,891

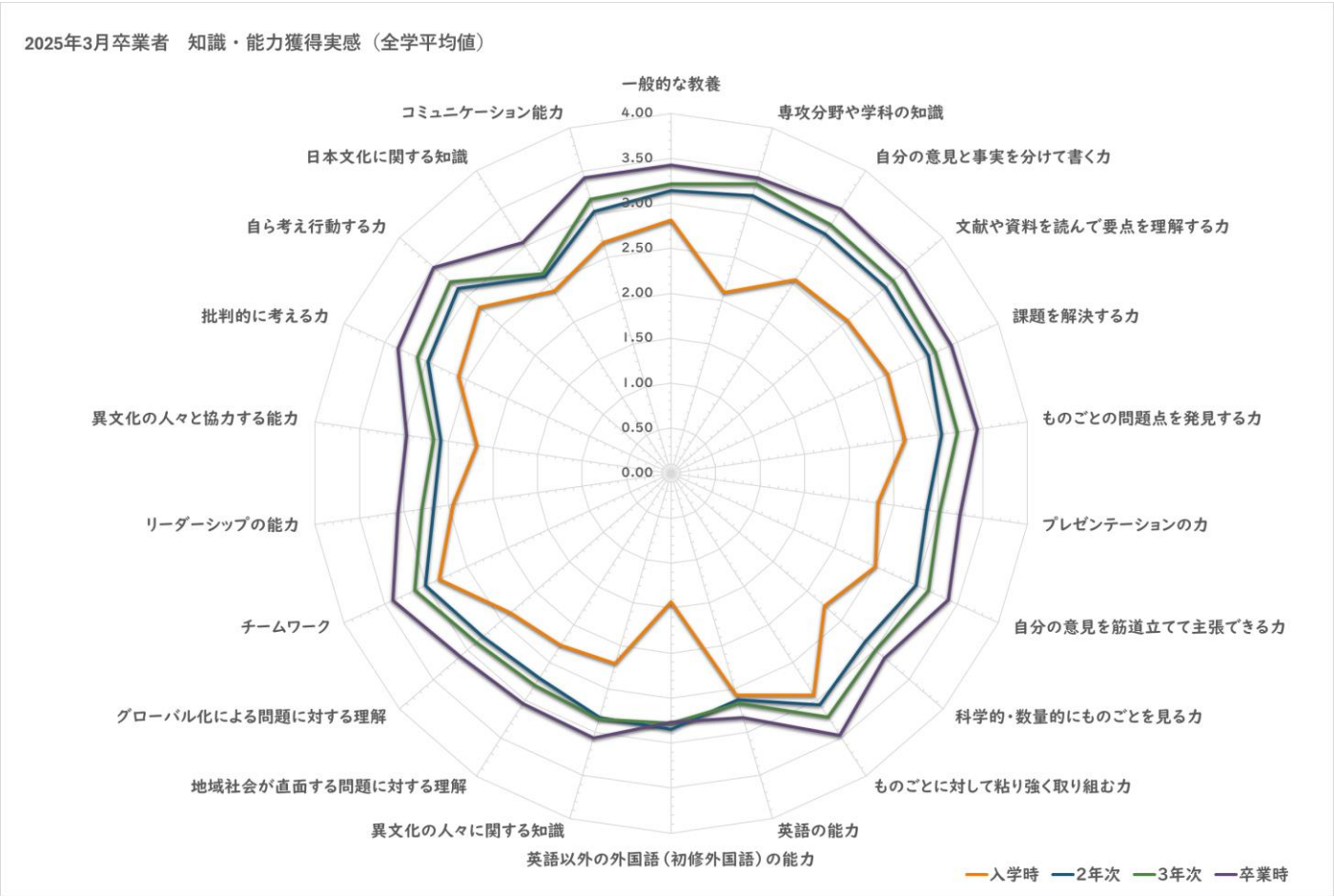
「本学での学びをつうじて、身についた知識・スキル」について、23項目にわたって尋ねた。「身についていなかった・あまり身につかなかった・やや身についた・身についた」という回答分布と、それぞれの回答を1～4に数値化し、その平均値の降順にまとめたものが左表。

「英語以外の外国語（初修外国語）」「英語の能力」「異文化の人々と協力する能力」の3項目は、昨年度と同様に、「身についた+やや身についた」の割合が80%を下回り、かつ、平均値でも3.0を下回った。

(3) 大学4年間での知識・スキルの伸びは？／1週間あたりの学習時間数は？

身についた知識・スキルの伸び（入学時～卒業時の経年変化）

過去の「入学時調査」「学びの実態調査（2・3年次）」と比較するため、3つの調査に共通する22項目（前頁の「安易に周りに流されず、自分が正しいと思うことを実行する力」を除いたもの）に対する回答を1～4に数値化した平均値の推移は下図のとおり。年次進行とともに知識・スキルが向上していったことがわかる。（※2022年度・1年次の調査は、質問項目が異なるため、集計から除外。）



学習時間数

4年次・秋学期で「最も熱心に取り組んだ時期」の1週間あたりの学習時間は下図のとおり。学部教育の総まとめと位置づけられる卒業論文・卒業研究にかかる時間が平均27時間（中央値20時間）と多かったことがわかる。授業の受講や授業受講以外の学習時間も平均で20時間前後（中央値で10時間）となっている。

	卒業論文、卒業研究、ゼミ論文の作成	授業の受講	「授業の受講」時間以外の、授業に関する予習・復習、課題作成、実験、定期試験の勉強
週平均[単位:時間]	27.08	21.51	16.82
中央値[単位:時間]	20.00	10.00	10.00
週0時間	12.2%	8.5%	14.4%
週1-2時間	2.6%	13.7%	14.2%
週3-4時間	4.4%	8.8%	7.4%
週5-6時間	7.0%	8.7%	9.5%
週7-8時間	2.6%	2.8%	3.4%
週9-10時間	11.1%	7.9%	14.2%
週11-15時間	7.1%	7.8%	5.8%
週16-20時間	11.7%	12.0%	9.8%
週21時間以上	41.4%	29.7%	21.3%
有効回答数[人]	2,829	2,817	2,810